

いこいの たのびてもら

題字 梅の木寮（ユニット型）

2009年（平成21年）10月20日発行

第329号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害セクター
所長 柴田 浩志

編集 いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

「今年も頑張ろう！！」



しめなわ交流会で、みんなの気持ちがひとつに！



売上げ目標750万円、頑張るぞ！

（栗の木寮 井下 ひとみ）
今年度の「売上げ目標七五〇万円」を仲間が報告すると、目標達成に向けて共に頑張ろうとみんなの気持ちがひとつになりました。より多くの方々に、いこいの村のしめなわで良い年を迎えていただけるように頑張ります。

しめなわ交流会には約100名の方々が集まりました。



仲間が作った水ようかんをいただきました。

「おいしいです！」

それぞれの敬老会



「敬老の日」に合わせて、今まで栗の木寮 梅の木寮従来型 梅の木寮ユニット型合同で実施していた敬老祝賀会を、日頃、生活をともに過ごしている集団に分かれておこないました。それぞれ和やかに敬老をお祝いしました。

栗の木寮「あゆみ会」敬老を祝う集い



なかみは何だろう??



あゆみ会会長から
お祝いの品をもらいました

お昼は豪華なお弁当を
食べました



華やかな雰囲気にも弾みます



「傘寿のお祝いをいただきました」

梅の木寮「年輪の会」敬老祝賀会



会場の壁には長寿番付を
貼りだしました

ユニット型 敬老お楽しみ会



クイズや出し物で盛り上がりました



「初めての敬老会。嬉しいなあ！」

「95歳おめでとうございます
今年はどんなことがしたいですか？」



健康の豆知識



恐るべし！ 新型インフルエンザ

今年四月を皮切りに、世界中で感染が拡大している新型インフルエンザ。通常、『高温多湿』を苦手とするウイルスなのに、夏になっても勢力を失わず、最近では国内でも亡くなる方が出てきました。

現在、舞鶴や福知山でも集団感染が確認されており、綾部で流行するのも時間の問題。間もなく『寒冷乾燥』の季節を迎える日本では、より勢力を増したウイルスによる、爆発的な流行も危惧されています。『弱毒』といえども、決してあなどれません。

どこが違つたのでしょうか？

通常のインフルエンザなら、体が敵の性質を記憶して、戦い方(抵抗力)が身につく、『免疫』という体の働きが期待できます。『ワクチン接種』で人工的に免疫をつけて予防する

ことも可能です。しかし『新型』の場合、ほとんどの人に免疫がないので、感染拡大は図りきれません。これが『新型』の最も怖いところです。やっと開発された新型対応ワクチンも、流行が懸念される時期に接種が間に合つか、ついには、有効性を疑問視する声まで出て来ています。

結局のところ、インフルエンザ予防の極意とは、右往左往する情報に振り回されないで、『感染予防の基本に立返ること』に行き着くのです。

インフルエンザに負けないために

① 人混みを避け、集会や買い物など、混み合った所へ行く時は、マスクを着けましょう。



② 外出から帰ったら、必ず、手洗いうがいをししましょう。



③ 十分な休養と栄養をとり、疲れを残さないようにしましょう。



日頃の心がけが大切

インフルエンザに負けないために、私たちができること。それは、決して特別なことではなく、今日からでもできる簡単なことです。

そして何より大切なのは、ウイルスに負けない丈夫な体を保つことなのです。



(いこいの村・感染症対策委員会 阪田正子)

みんなの手話 「インフルエンザ」



※指文字の「イ」で「風邪」の表現をします。※咳をする



いこいの村
聴覚言語障害サークル
所長 柴田 浩志

先日、あたたかいハート98北部班の結成十周年を祝した研修会に講師としてお招きいただき、グループホームを中心にお話させていただきました。研修会には北部班の会員の他に、北部で永らく活動されてきた高倉正次さん(梅の木寮入所者)も参加され、和やかな研修会となりました。

北部班は一九九八年に京都府聴覚障害者協会が実施したホームヘルパー三級講習会を受講した北部在住の方々を中心に結成されました。結成から十年、介護保険法の実施、支援費制度から自立支援法へと、高齢者、障害者を巡る状況が厳しくなる中、北部の聴覚障害者の暮らしを守るため代表の前田富士子さんを中心に地道な活動を続けてこられました。

今回の研修会では、生まれ育った地域で豊かに生きるた

め、地元グループホームを創設しようという目標を実現するため、創設の意義や今後の活動のあり方について、共に学び合いました。

講師の私から、「五年後にはぜひとも全国モデルとなるグループホームを実現しよう」とお話ししたところ、参加者から「五年後では遅すぎる」との厳しいご意見をいただき「五年以内には実現しましょう」と訂正するほど、参加者の熱い思いが伝わってくる、とても良い学習会でした。

なかなか、難しい目標ですが、様々な困難を克服してきた高倉さんに学び、京都北部いこいの村建設委員会の皆様と共に挑戦してみようという決意した日になりました。

十五夜が終わり、鈴虫が鳴く季節。いこいの村まつりも間近です。



※9月受付分及び記載漏れのあった方々、ここに記載させていただくとともにお詫び申し上げます(順不同)

河波	義子	様	綾部市神宮寺町	継
阪田	惠一	様	綾部市五泉町	継
奥田	初子	様	綾部市五泉町	継
中嶋	冬子	様	綾部市五泉町	継
波多野	滋野	様	綾部市五津合町	継
渡辺	卓麻	様	綾部市十倉中町	継
藤崎	昇	様	綾部市五泉町	継
澤田	透	様	綾部市佃町	継
川端	ユキ工	様	綾部市佃町	継
木下	八重	様	綾部市佃町	継
片山	忠純	様	綾部市佃町	継
桑迫	和枝	様	綾部市佃町	継
桑迫	三男	様	綾部市佃町	継
桑迫	京子	様	綾部市佃町	継
木下	好枝	様	綾部市佃町	継
木下	樺夫	様	綾部市佃町	継
桑迫	シゲル	様	綾部市佃町	継
木下	実	様	綾部市佃町	継
片山	潔	様	綾部市佃町	継
細井	偵	様	綾部市佃町	継
細井	寛二	様	綾部市佃町	継
細井	實	様	綾部市佃町	継
細井	守	様	綾部市佃町	継
木下	晴彦	様	綾部市佃町	継
細井	健良	様	綾部市佃町	継
井上	みち子	様	綾部市佃町	継
片山	嘉朗	様	綾部市佃町	継
片山	うめの	様	綾部市佃町	継
井上	真弓	様	綾部市佃町	継
井上	陽一	様	綾部市佃町	継
井上	信治	様	綾部市佃町	継
井上	弘	様	綾部市佃町	継
井上	英夫	様	綾部市佃町	継
井上	郁夫	様	綾部市佃町	継
井上	成美	様	綾部市佃町	継
斎井	隆司	様	綾部市十倉向町	継
井上	隆雄	様	綾部市十倉向町	継
細川	孝	様	綾部市十倉向町	継
渡邊	泰敏	様	綾部市十倉向町	継
渡邊	正道	様	綾部市十倉向町	継
馬田	益男	様	綾部市十倉向町	継
柳田	達也	様	綾部市十倉向町	継
井上	博明	様	綾部市十倉向町	継
大槻	勝	様	綾部市十倉向町	継
井上	洋一	様	綾部市十倉向町	継
馬田	久夫	様	綾部市十倉向町	継
細川	寿賀夫	様	綾部市十倉向町	継
細川	和子	様	綾部市十倉向町	継
川端	康夫	様	綾部市十倉向町	継
渡辺	一成	様	綾部市十倉向町	継
渡辺	準治	様	綾部市十倉向町	継
渡辺	朝野	様	綾部市十倉向町	継
渡邊	敏子	様	綾部市十倉向町	継
柳田	ちず枝	様	綾部市十倉向町	継
柳田	仲夫	様	綾部市十倉向町	継
渡邊	義昭	様	綾部市十倉向町	継
馬田	早苗	様	綾部市十倉向町	継
馬田	君江	様	綾部市十倉向町	継
柳田	美榮子	様	綾部市十倉向町	継
瀬野	雪枝	様	舞鶴市	継
渡辺	昌子	様	京都市	継

後記
4月23日「暮らしを考える集い」で 早瀬憲太郎さんの
講演を聞くことができました。もう1人の孝育 映画監督
など幅広く活躍されている方で、講演後に「同世代
ですね」という言葉になり 赤面しました。
席を持って 元気張らなせやい。 <三宅>

「◆後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみの掲載です。現金・振込・自動引落の方は京都聴言ニュースに掲載させていただいております。